

プレイパークの作り方

仲間 + 空間 + 自由な遊び + プレイリーダー = プレイパーク

仲間を探そう

「なぜ外で遊ばなくなったのか」「どうしたらもっと自由に遊ぶようになるか」多くの人と話し合い、同じ気持ちをもつ仲間を探すことから始めよう。

地域には
木工やパン焼きなど
技を持った人が
いるものです



場所を見つけよう

開催できる場所がどこにあるかを見つけよう。近くに水道・トイレ（学校や公園）があり、子どもたちが日常的に往復できるところが望ましい条件になります。



市では要望に応じ地域での説明会を開催します。

遊びの内容を考えよう

「どんなふうに遊びたいか」子ども（中学生を含む）の声をよく聞き、その地域（土地）の条件を考え、遊びの内容を決めよう。



必要な遊び道具や材料を準備しよう

参加者や住民にカンパを募ったり、地域各種団体から助成金をもらうなど活動資金を確保しよう。



市では遊び材料道具費の支援やプレイリーダーの派遣を行っています。



プレイリーダーをおこよう

子どもたちが思いっきり遊べるようにプレイリーダーもしくは地域の世話人を配置しよう。

近隣住民へチラシを配ろう

当日は、木を燃やしたりして埃や煙が発生するのでチラシ等を配布回覧し事前に理解と協力を得ておこよう。



遊びに必要な3つの間

遊ぶ時間

遊ぶ空間

遊ぶ仲間

当日は思いっきり遊ぼう

当日は、子どもと一緒に遊びまわろう。そんな大人の姿が子どもの遊び心呼び覚まします。

何よりも大人自身が楽しむことが一番なのです！

